



危険な車道の自転車通行(大宮通)

自転車には車道の左側走行が義務付けられていますが、道路の左端の現状は、必ずしも自転車にとって安全とは言えません。その上に、大型車両の後方からの接近で危険度は増します。産業交通水道委員会で、市バスに「バスが接近しています」との音声通知装置を設置し、危険を少しでも回避するよう求めました。

## 住民とともに、懇談、運動

### ざっくばらん懇談会 民泊問題に関心集中

豊園、永松、有隣、開智の4学区のみなさんを対象に月一回取り組んでいる「ざっくばらん懇談会」。急増する民泊問題が大きな関心事になっています。地域は京都市の中心地。商業施設、飲食店も多く、外国人観光客が急増中です。「近所に民泊ができそうだ」「どのように対応したらいいのかわからない」「問い合わせようにもオーナーがわからない」など相次ぐ質問。

懇談会では、京都市への問い合わせ方法、住民運動の取り組み方など、丁寧な説明を行っています。



### ホテル建設ラッシュ 住環境守りたい



七条通りのホテル建設予定地

下京区東部の幹線道路に接する地域では、高層ホテルの建設ラッシュです。プライバシー保護、日照問題など住環境に与える心配の声が出されています。建築基準法、旅館業法、消防法などの説明とともに、京都市中高層条例に基づき日常生活への影響回避の方法など、現場調査、協定書づくりのアドバイスを行っています。

ごあいさつ  
 昨年の決算議会において、国の地方創生と市長がすすめる京都創生戦略は開発者側の論理に立つものと厳しく批判しました。京都市は、地方創生戦略に沿って都市計画の規制緩和を次々と拡大しています。また、全国大手コンサルなど民間によるまちづくりが目立ちます。下京区においても、京都駅周辺、梅小

路公園・中央市場、リサーチパーク・大阪ガス用地などの地域で、建物の高さや容積率の規制緩和が大きいです。さっそく中央市場用地を活用した、東京資本の商業施設の準備工事が始まっています。開発者優先のまちづくりを批判し、地域コミュニティの衰えを心配する声に応えるよう求めました。

山中 渡

日本共産党

京都市議員

日本共産党京都市議員団長・

産業交通水道常任委員・予算決算特別委員会委員

わたる  
 山中 渡

